

全国障害者スポーツ大会について

健康福祉部

1 大会概要

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加の促進に寄与することを目的として開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

【経過】

- ・ 昭和40年に国体開催地の岐阜県で「第1回全国身体障害者スポーツ大会」が開催。以降、国体開催地で毎年開催。
- ・ 平成4年に東京都で「第1回全国知的障害者スポーツ大会」が開催。以降、各都道府県持ち回り(国体開催地とは別)で毎年開催。
- ・ 平成13年に上記大会が統合され、「第1回全国障害者スポーツ大会」が宮城県で開催。以降、国体開催地で毎年開催され、平成24年は岐阜県で第12回大会が開催予定。
- ・ 平成20年に精神障がい者が参加(バレーボールのみ)

2 主催

厚生労働省、公益財団法人日本障害者スポーツ協会、開催地都道府県、開催地市町村、関係団体等(実施については、開催県等が実行委員会を組織し、企画運営をすることが通例)

3 開催場所・日程等

開催地：国民体育大会の開催地の都道府県において開催(全国障害者スポーツ大会開催規程第4条)

競技施設：原則として国民体育大会の会場を使用(全国障害者スポーツ大会開催基準要綱5)

開催日程：毎年10月中旬から下旬に3日間開催

4 参加者・実施競技

参加者数：選手(身体・知的・精神)：約3,500名、役員：約2,000名

競技種目

個人競技：陸上、水泳、卓球、フライングディスク(以上身体・知的)、アーチェリー(身体)、ボウリング(知的)

団体競技：車椅子バスケットボール、バスケットボール(知的)、グランドソフトボール(視覚)、ソフトボール(知的)、フットベースボール(知的)、バレーボール(聴覚・知的・精神)、サッカー(知的)

【参考】平成23年第11回大会(山口県)の三重県選手団

団長 山本征雄 (三重県身体障害者福祉連合会会長)

選手 個人競技 選手28名、役員24名 計52名

団体競技 グランドソフトボール